

同援だより

2025年 新春号 (202号)



CONTENTS

私の夢
施設通信
昭和郷フェスティバル

令和七年の年頭に当たり

理事長 飯山 幸雄



明けましておめでとうございます。

昨年は、元旦早々能登半島での大地震、豪雨による洪水などの自然災害が頻発し、多くの方々が被災され苦しい生活を余儀なくされておられます。一日も早く生活の再建が成りますよう心からご祈念申し上げます。一方スポーツの世界では、パリオリンピックでの日本選手のたくさんのメダル獲得やMLBにおける大谷選手の大活躍など明るい話題がありました。

「一年の計は元旦にあり」本コラムをご覧になっている皆様、元旦にお目覚めの後、気持ちを新たに今年度の抱負をお考えになられたことでしょうか。

さて、私たちの仕事は暦年でなく年度で動いています。ですから本号が皆さんのお手元に届く頃には、同胞援護会では来年度の事業計画の策定と予算編成がたけなわとなっています。この事業計画が本会の具体的な抱負であり、予算がこの抱負の実現に向けた経費的な裏付けです。これを基に来年度の事業を進めていくわけですが、来年度はかねてより杉並区久我山に建設を進めていました障害者施設がオープンします。杉並区の障害者福祉の一翼を担い、地域で施設支援を必要とされるご本人とご家族のニーズを的確に受け止め、ご納得いただけるサービスを展開してまいりたいと思っています。この方針は、新施設だけでなく本会全ての施設に共通するものとして、年頭に当たり改めて表明いたします。

ところで、昨年11月上旬に、「厚生労働省が5日に公表した人口動態調査（概数）によると、2024年上半期に生まれた新生児は32万9998人ととどまり、1年間の出生数が初めて70万人を割る公算が大きくなった。」という趣旨の報道がありました。出生数が年間80万人を割ったのが令和4年、そして2年で10万人少なくなってしまうことになり、少子化の進行はますます激しくなってきました。このような事態に政府はこども家庭庁を発足させ少子化対策に力を入れはじめましたが、まだ功を奏するには至っていない状況と言えます。これからの日本社会の活力を考えると、これ以上出生数が減ることは由々しいことですから、せつかく生まれたこどもたちを大切に育てなければなりません。そのために本会の保育園は、これまで時間をかけて見直してきた保育の在り方を踏まえ、一層お子さんとご家庭のご満足を得られるよう運営いたします。本会といたしましては、保育園をはじめ全施設において利用される方とご家族のため、真摯に運営に取り組んでまいります。

結びに当たり、「同援だより」をお手に取って下さった皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

同援いぐさ保育園



F・Y

美味しいショートケーキが作りたいから、ケーキ屋さんになりたい



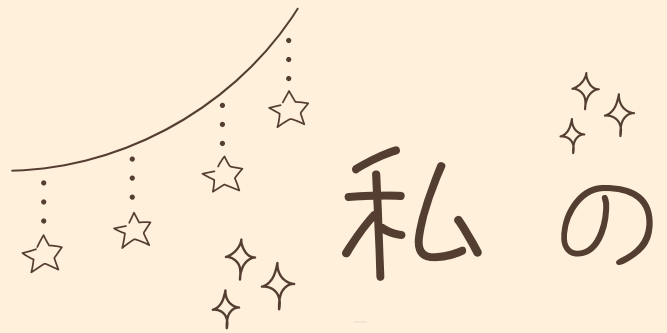
Y・Y

小さい時からずーっと、大きくなったら美容師さんになりたかった



S・G

京都に行ったときに泊まったホテルがとても楽しかったから、ホテルで仕事がしたい



さくらんぼ

伊藤 賢士さん

福祉ホームさくらんぼで去年の10月から長期利用に入ってから、1年になりました。今は就労移行支援事業所に入って、通ってます。池袋駅から大塚駅までJR山手線に乗っています。お仕事を見つけられる迄頑張ります。

再来年からはグループホームに行き入ります。職員と一緒に探したり、話ができるようにします。

(本人の記述一部改変)

- Q. どんなグループホームがいいですか？
(選択肢の中から選んでもらいました)
- A. 広い、きれい、ご飯がおいしい、駅が近い。
さくらんぼは駅から10分で、ちょっと遠いです。
- Q. 趣味の絵についてはどうですか。
- A. 月1回絵画工房で、絵の具で植物の絵を描いています。前絵画展で入賞しました。また入賞したいです。

さくらんぼ祭の看板を作成してくれました！

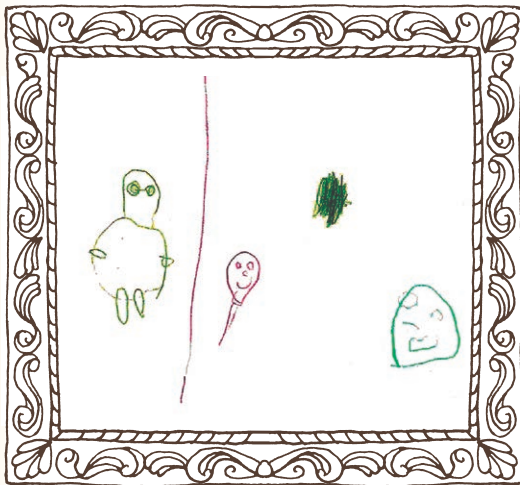




夢



児童養護施設 双葉園 (幼児ユニット)



- スパイダーマンになりたい
R.Oくん (6才)
- さくらんぼ (幼稚園の未就園児の会) の
せんせいになりたい
R.Nちゃん (3才)
- かみがながいひとになりたい。
ちやいろのうすいかみ
K.Nちゃん (4才)
- プリンセスになりたい
R.Kちゃん (3才)
- はしご車になる
H.Aくん (3才)

ニューフジホーム (特別養護老人ホーム)



みやた えいこ
宮田 榮子さん

『お料理をつくりたい』

昔はお料理をよくつくった。今はやらなくなっちゃったけど、煮物とか、餃子とかつくって、息子たちに食べさせてました。またお料理をつくって、家族やお友達に食べてもらいたいな。



ひらかわ つねこ
平川 恒子さん

『短歌や書道を学びたい』

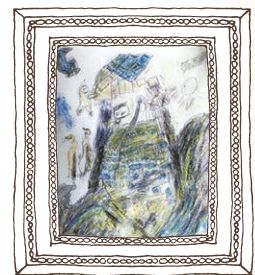
今はコロナやインフルエンザの影響で、自由に孫やお友達に会えないし、ボランティアさんも以前のように来られなくなってしまった。また皆と自由に会って、短歌や書道を学びたいな。



さわだ のぼる
澤田 昇さん

『漫画を描きたい』

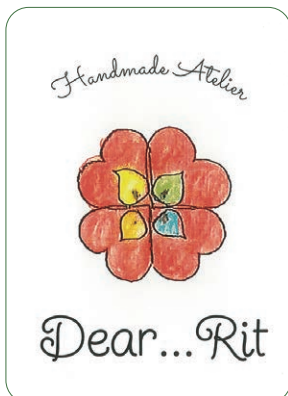
私は絵を描くことが好きで、普段から絵を描いたり、塗り絵をしったりしています。描いた絵を人に見てもらいたくて、廊下に作品を貼ってもらっています。私の夢は、漫画を描いて、それをニューフジホームの利用者さんや、職員さんに読んでもらうことです。1年ほど前から頭の中でイメージを膨らませています。まだまだやりたいことがたくさんあります！



施設通信 魅力発見



『Dear...Rit への想い』



オリジナルブランド ロゴ

「女性支援の始まり」

自立ホームいこいは、さまざまな理由で入所している女性の自立を支援する施設です。

令和6年4月に施行された女性支援新法は、困難な問題を抱えた女性の人権と尊厳が守られ、すべての女性の福祉を実現する礎となりました。

当施設では、職場環境風土を大切に、経験にとられることなく、職員一人ひとりの持ち味を活かし新たな支援に挑戦しています。

自立ホームいこい

支援員 おおつか 大塚 まい 麻衣
支援員 ひの 日野原 はるな 晴菜

「利用者の利益を第一に」

私たちの支援は、希望する自立に繋がるよう日々試行錯誤しながら展開しています。利用者が心を休め、ゆっくりと落ち着いた生活が送れるよう、季節感を取り入れた行事やアトリエ活動を行っています。オリジナルブランドの「Dear...Rit」のロゴには、四葉のクローバーに火の灯ったキャンドルが描かれています。これには、キャンドルに手をかざし、灯った火が消えないよう守り続けていこうという想いが込められています。私たち職員もキャンドルの火を守るように、今後も利用者寄り添いながら自立を支えていきます。



ハーバリウム



グループホーム利用者さんのウエイトレス

昭和郷高齢者複合施設では、大人も子供も高齢者も、地域の誰もが集うことのできる「さくらカフェ」を毎月第4土曜日13時30分～15時30分で開催しています。

コロナの影響で一旦休止していました「さくらカフェ」ですが、約4年ぶり昨年6月から再開いたしました。

参加者にはお茶やお菓子などを提供し、おしゃべりやボランティアさんによる演奏・ネイルサロンやワークショップを楽しんでいただいています。

地域の参加者さんには、「毎月の出し物が楽しみ」や「昔の知り合いに何十年かぶりに、さくらカフェで再会した。」の話をしていただきました。

『日帰り旅行』

立川福祉作業所 生活支援員 なかがき みき 中垣 美紀

『さくらカフェ』

昭和郷高齢者複合施設
さかにわ ひろゆき
 施設長 坂庭 弘行

また、グループホームや小規模多機能の利用者さんにサービスの一部をお手伝いしていただき、地域との関わりを持っていただいています。

興味のある方や参加したい方は、お気軽においでください。
 (参加費 100円 飲み物・お菓子付)

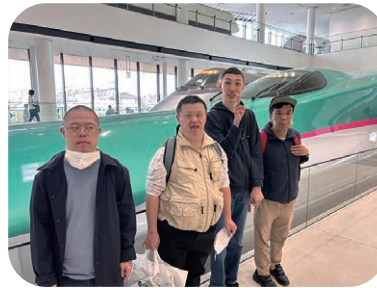
【問い合わせ先】

昭和郷高齢者複合施設
 TEL 043-541-3012
 (田村・加藤田) まで

これからも「さくらカフェ」は地域の高齢者や子供や大人が、つながり合う拠点を目指します。



ワークショップ 小さなお客さん



新幹線とわたしたち

夏の猛暑も過ぎた頃、立川福祉作業所ではイベント行事である日帰り旅行を開催し、埼玉県さいたま市大宮にある鉄道博物館へ行ってきました。

今回は2グループに分かれての開催となり、1グループは10月、2グループは11月に行ってきました。私は1グループに同行したのですが、入口から入るや否や、汽笛の音が大音量で響き渡り、物凄い迫力に少し驚いてしまいました(笑)

そんな1階フロアには、36両もの実物車両が展示されていました。車両の中に入って座ったり、写真を撮るなど、車両に夢中になっている人もいれば、お土産のことで頭がいっぱいの人…皆さん様々ですね(笑)



駅員になったわたしたち

歩き疲れた後はいよいよ昼食！我々は本館3階にある新幹線ラウンジにて、全員で牛すき焼き弁当をいただきました。こういった場所で駅弁をいただくのも旅感があっていいものですね！かなりボリュームがあり、食べ応えがありました。皆さんモリモリ美味しそうに召し上がっていました。やはり、沢山歩いた後のご飯は格別ですね…



牛すき焼き弁当とわたしたち

その後は時間いっぱい見学、お茶をしたりお土産を購入したりと最後まで楽しむ利用者さんの姿を見ることができました。

普段見ることのできない姿なども垣間見え、日帰り旅行を開催できたことをとても嬉しく思いました。また来年も皆さんの記憶に残るような行事を考えていきたいと思えます。

昭和郷 フェスティバル 開催報告!!

実行委員長 **こがねざわ やすのり**
小金澤 康哲

昭和郷フェスティバルの5年ぶりの開催は、来場者が途切れることなく入場し、会場は活気に溢れ、各ブースでは地域住民や施設利用者同士の会話が弾み、楽しい雰囲気広がっていました。地域の方からも「久しぶりに昭和郷フェスティバルが開催されて嬉しい」「福祉施設と地域住民が一体となったイベントはとても意義がある」といった感想が多く寄せられ、地域との絆を深めることができた素晴らしい会となりました。

来年はさらに多くの参加者を迎え、昭和郷の魅力を広く伝える場として、笑顔あふれるフェスティバルとなることを目指していきます。



給食センター
カレーライス



美味しくて食べやすい
昭和郷特製カレーは
いかがですか~!



昭和郷第二保育園

さくら
ホール

給食センター



5



昭和郷保育園・第二保育園合同
ポップコーンと綿菓子



お祭りと言えば、
やっぱり綿あめ!

にほにほ園庭



ステージ



フジホーム



4



東村山生活実習所
パン・焼き菓子・アクセサリ

笑顔の接客で、
たくさん売れました。



楽しんでるかい?





2



昭島荘 駄菓子屋

昔懐かしいお菓子を目の前に
童心に帰って、お菓子選びに
夢中な姿もチラホラ……

3



万世敬老園 射的・輪投げ

／恐竜も登場！／



2
3
4



昭島病院

「どれにしようかな～」
と迷いながら、買い物
を楽しんでいました。

前回も参加していただいた昭和中学校の吹奏楽部による演奏も行われ、フェスティバルをより賑やかにしていただき、笑顔溢れる瞬間が多く見られました。
学生の皆さん、ありがとうございました。



大賑わいのバザーテント



令和6年度昭和郷フェスティバルの収益金444,486円は、昨年能登半島で発生した地震被害に対し、被災地域の一日も早い復旧・復興を願い、石川県庁へ寄付いたしました。



地域合同防災訓練報告

昭島病院 事務長 やまかわ ひろかず 山川 浩一

「首都直下地震発生（想定）」

昭和郷と地域自治会との相互応援協定に基づき合同で災害対応訓練を行いました。

コロナで中断し今回5年ぶりの

合同防災訓練実施となりました。

災害の想定として、13:30 首都直下地震が発生、都内で震度7を観測、昭島市は震度6強、昭和郷複合施設のさくらホールが崩壊し、建物内にいた多数がケガをしたという想定で訓練を開始しました。



トリアージ後重傷者の治療

「トリアージ訓練」

今回の訓練では昭島市が病院玄関先のみんなの広場にテントを設営し、軽症者の治療と処方をするという仕組みが加わりました。これは、昭島病院が市内の災害時拠点病院の一つとして機能するために昭島市が災害時の対応体制の一つとして取り組むというものです。

訓練は、地震発生後、さくらホールに集まっていた自治会の皆さんと昭和郷の職員にケガ人役をしてもらうためケガに似せたシール（ムラージュ）などを配布して、ケガ人役をしてもらいました。



トリアージと搬送

車イスなどで搬送し、昭島市のテント前で第一トリアージ、中等症以上はそのまま昭島病院へ搬送します。

病院建物前で

第一トリアージをして軽症者は病院内に入らずに対応することには理由があり、ケガ人全員が病院に入ると対応しきれなくなる場合を想定しています。

第一トリアージから病院に来たケガ人は、第二トリアージを行い、中等症・重症・死亡にトリアージして対応します。

今回、トリアージの結果、重症とされたケガ人が多数あり重症の治療を行う診察室を急遽増やし医師会の医師に協力いただきました。また、重症患者がずらりと並んでしまい、実際の災害に備える課題の一つとなりました。

「参加者総勢 160 名」

今回の参加者は、昭島市自治会連合会第4ブロック、昭島市、昭島市医師会・医師・看護師・事務局、薬剤師



会、昭和郷施設、あいぽっく、昭島病院、昭島消防の総勢160名での実施となりました。

次年度も今回の反省点を踏まえて、地震災害時の訓練を各方面からの協力をいただきながら、実施していければと思います。

医師会の皆さんをはじめ多くの方がボランティアでご参加くださいました。ご協力ありがとうございました。



重傷者の一部、他院へ搬送

研修委員会 法人研修紹介

研修委員長 やまぐち しんじ 山口 慎二

研修委員会では法人職員研修を企画、運営しています。今年度は人事考課者対象の1対1のコミュニケーション研修と全職員対象のメンタルトレーニング研修を中心に計画し、「人にやさしく」「働きやすい職場」づくりにつなげたい！という思いが込められています。その他、キャリアアップにつながる階層別研修、テーマに合わせた課題別研修を設けています。

今回ご紹介するのは2つの階層別研修です。

新任フォローアップ研修



10月3日、神保町の日本教育会館にて実施されました。昨年度途中入職者、または今年度新任採用者を対象に行っています。3月に新任研修を受けた職員も多数参加し、そのフォローアップも兼ねています。講師は(株)クレスコパートナーズに依頼。研修内容は入職から半年余りで出来たこと、出来なかったことの振り返りと自己のブラッシュアップ、コミュニケーション技術の向上等々盛りだくさんでした。受講者46名の大所帯での研修でしたが、個人ワーク、グループワークとも活発に意見交換が成され、みなさんに非常に活気のある研修を作りあげてもらいました。その様子は今後の同援の「人財」に大きな期待を抱かせるものでした！



参加者の声
「素晴らしい同期や先輩に恵まれていることに感謝して、今後の支援も自分にできることを精一杯頑張っていきたい」

上級フォローアップ研修



9月11日、昭和郷のさくらホールにて実施されました。受講対象は過去3年間の上級研修受講者の内、コロナ禍で振り返りの機会を持てなかった令和3年度受講者、令和5年度受講者です。講師は(株)ビーコンラーニングに依頼。過去3年間の上級研修は講義が3回に加え、eラーニング2科目以上の聴講と質、量ともに厚い研修でした。久しぶりの再会となった方も多く、緊張感もほどほどに打ち解けた雰囲気の中で始まりました。研修内容はそれぞれが立てた目標の進捗などの振り返りから、リーダーシップ、チーム運営について、そして自己診断と行われ、さすがは各事業所のリーダー！自己の役割認識や問題意識を持ち、熱心に取り組みされていました。講師からも非常に高い評価を受けております。やはり同援のミライは明るいようです！



※eラーニング……インターネットを利用して学ぶ学習形態

ご支援ありがとうございます。大切にさせていただきます

(敬称略順不同)

ご 寄 付

昭島市自治会連合会第4ブロック
ブロック長 井上 三郎

昭島ガス(株)
代表取締役社長 平畑 文興

公益財団法人
SBI子ども希望財団

(株)アビック

一般財団法人
日本児童養護施設財団

豊野 秀一

(株)北川商店
北川 穰一

石川 恵利香

24時間テレビ事務局

慶州苑嚴功光

(株)橋本工務店
代表取締役 橋本 誠一

公益社団法人 豊島法人会
会長 池田 憲治

一般社団法人
子供みらい基金

do TERRA
大林珠理グループ

後 援 会

大橋 政照

葛西 優美

(株)ケイエス機材

長崎三丁目町会
会長 足立 憲昭

(有)ラッククリーンサービス
代表取締役 佐々木 憲寅

(株)コスモス医工
代表取締役 小林 寿男

(株)安江設計研究所
代表取締役 安江 知之

志田原 陽果

三峰電気(株)

風間造園(株)
代表取締役 風間 修一

(有)原島組

(株)木の里工房木薫
代表取締役 國里 哲也

(株)石塚家具店

中村屋魚店

澤井 晴乃

(株)オービーエス
代表取締役 小川 達郎

戸山商事(株)

(有)海老山

渡辺テント
代表取締役 渡辺 厚志

唐沢電気(株)
代表取締役 小林 利美

資格取得の紹介

次の方が資格取得しました。
日頃の業務に生かしご活躍を期待します。

【介護支援専門員】

- フジホーム 介護職員 島村 友実

祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方々表彰されました。
おめでとうございます。

【全国社会福祉協議会表彰】

- 東村山生活実習所 生活支援員 藤井 裕子

【豊島区功労者表彰(社会福祉事業功労)】

- ゆたか苑 看護師 野津 真千子

【東村山市ワーク・ライフ・バランス推進 優良企業 認定証】

- サンホーム
- 特別養護老人ホーム ひかり苑
- 東大和市ふれあいデイセンター ひかり苑

雑感

私の両親は兄弟が多く、そのためいとこが26人います。幼い頃は年の近いとこと遊ぶことが楽しくて、親戚の集まりがあるとワクワクしていました。ところが、思春期を迎える頃になると親戚との付き合いが煩わしく感じるようになり、同時に仕事や友達との付き合いが中心になり、私自身は親戚と顔を合わせる事が少なくなりました。それから10年以上…親族の結婚式でいとこたちと久しぶりに会い、年齢を重ねたお互いの姿に「昔と変わらないね」「今、何しているの？」等など話題は尽きず、昔のように遠慮なく話せました。そして年老いた叔父叔母とも時々連絡を取り合うように。遠く離れていても、会えない期間があっても親戚はお互いを気にかけてくれる心強い存在であることを、この歳とともにしみじみと感じています。

記 大越

発行者 飯山 幸雄
社会福祉法人 東京都同胞援護会
東京都新宿区原町 3-8
電話 03(3341)7161 <https://doen.jp>

印刷所 東京都同胞援護会事務局
東京都墨田区両国 4-1-8

令和7年1月11日 発行

